

かがやく女性

題字
福井県知事 西川一誠
第18号
発行者
(財)ふくい女性財団

16年度ふくい女性塾開催 テーマ「福祉」

「生きる」ことは「自分を愛すること」

本年度の「ふくい女性塾」は福祉分野に焦点をあてて、11月6日から12月23日まで6回にわたって開講されました。どの講座も、少子高齢社会の課題解決の糸口となる有意義な内容でした。特に11月23日の公開講座、画家・豊田三郎氏の「運命に順応して」は受講生に希望を与えてくれました。

豊田氏は美山町生まれの96歳、現役の画家です。黒系のワイシャツ、スーツ姿で若者のようにかくしゃくとして講演されました。展示された作品は5点でしたが、美山の自然（特に杉の作家としては世界的に著名）を描いたものばかりです。

「私は風景の真を描く風景画家で、現場主義である。」「ともすれば見落としてしまいそうな風景の中に美を見て驚き、あるいはまた、川の瀬音や小鳥の声に妙な音楽を感じたり、諸々の物象に色々と人間のロマンを重ねて



みたり、まだまだ人間のとびつけない自然の美に浸りつつ、尽きることなく・・・。」と熱く語られました。

22年前につれあいを亡くされ、子どもさんも独立されて独り住まいですが、主夫をされながら、「もう96歳ではなく、まだ96歳だ。」という氏は、美山の自然の神々しさをこよなく愛し、日々立派な絵描きになりたいとこれからも絵筆を持ち続けられることでしょうか。

この講演を通して、ふるさとの自然やそこに生きてきた人々、そして自分を愛することの大切さを学ぶことができました。

(木村記)

福祉先進施設を視察して(広島県公立みつぎ病院視察11月26、27日)

福井大学産婦人科看護師長 佐々木 喜久子

越前町ネットワーク 浜野 和美

このたび、「ふくい女性財団」の皆様とご一緒させていただき広島県みつぎ町にある「地域包括医療施設 公立みつぎ病院」を見学させていただく機会を得ました。みつぎ病院の情報は、TVや書物で知っていましたが、その施設の見学に参加させていただく機会が得られるとは夢のようでした。病院は、みつぎ町を中心に、人口七万人を診療圏域とした地域の中核病院として、高度医療、在宅医療を積極的に行いケアの本質を追及した「患者本位の医療」「安心して住める町」づくりに取り組んでおられました。病院内に行政部門である「保健福祉センター」を併設していることや「福祉バンク」を取り入れ、「健康みつぎ21」を推進、されていることが魅力的でした。



みつぎ町においては平成3年「寝たきりゼロへの10ヶ条」を策定。寝たきりは寝かせきりから作られる。「過度の安静効果」と寝たきり防止をうたうため出前医療を実施している。そのことにより住民の声を聞き「保健、医療、福祉の統合」が整備された。窓口の二元化である。

また、平成2年には福祉バンク制度を発足。これは住民が元気なときに寝たきり等の要介護老人の面倒をみて、自分が倒れたら看てもらおう仕組みである。見学の最初から最後まで施設独特の匂いがなかった。そのことが、みつぎ町における保健福祉活動と結びついていると思う。充実した素晴らしい視察研修であった。

親子で性と向き合おう! ~若年層の性行動調査~

低年齢化する性行動。あなたはどのように考えますか?

◆アンケート実施◆

近年、若年層の性感染症や人工中絶件数が激増しており、この現象は福井県の調査でも報告されています。

そこで、この実態を把握し、子どもの発達段階に応じた性教育のあり方を家庭で学ぶための基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

◆調査対象◆

県内在住の18歳以上65歳未満の男女1200名。有効回答率89・6% ①初交年齢 ②初交の動機 ③性感染症の認知度 ④性の相談相手の4項目を調査。

◆調査結果◆

初交年齢は、年代を追うごとに低年齢化しており、10・20代については約過半数が、18歳までに経験している。初交動機については、女性は「愛情」が大半を占めているのに対し、男性は「愛情」「興味」が半々である。また、「自暴自棄・淋しかった」が幅広い年齢層に表れている。(報告書参照)

◆考察◆

大塩まゆみ氏(県立大学教授)、岸田美枝子氏(子どもNPO理事長、前川ちよ

の氏(大野東高校教諭)、山下利恵子氏(女性財団理事)により考察。

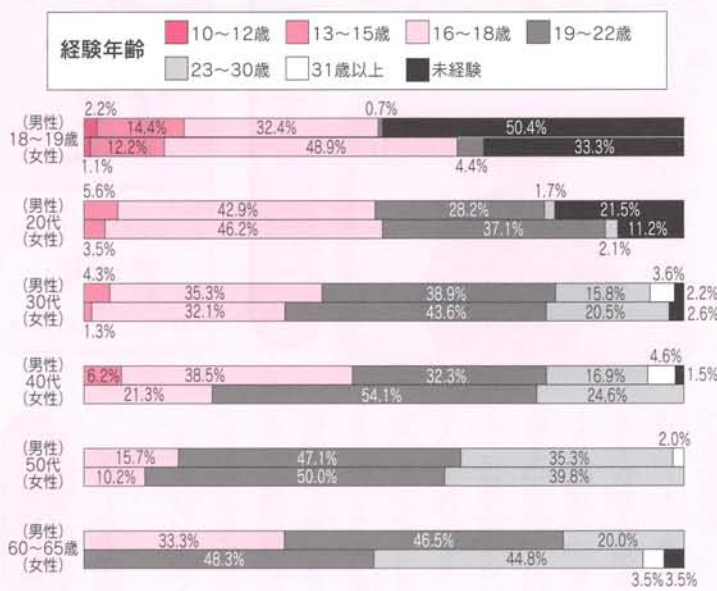
まず、性の低年齢化、性交の機会が多いのは明白。さらに、若い世代の8割は性感染症の正しい認識がないことから、不幸な事態に陥るケースが増え続けるであろう。性急な性教育と予防策が必要である。

また、「NO」という女性の自己主張や、避妊の協力など、対等な男女関係の構築が望まれる。社会的には、メディアの意識の低さや、性

産業の拡大なども問題視しなければならない。

そのためには、親子で性と向き合うことが大切である。一般に、「淋しい」という理由で性行動をとる10代も多い。「瞬でも自分をわかつてほしい」という気持ちがある。居場所や、家族のコミュニケーションが重要である。しかし、今の子どもたちは忙しすぎる。まず地域や家庭に子どもを帰すことが課題である。

Q あなたが初めてセックスを経験したのはいつですか?



まずは大人から「正しい性」の学び

男女共同参画セミナーに参加して

連合福井女性委員会
山下利恵子

10月16日にユー・アイふくにおいて開かれました。今回は大野東高校の前川ちよの先生に「男と女のよい関係を目指して」と題して講演していただきました。

奈良で起きた事件など児童の性被害も増加しており、性の問題は現代社会が抱える切実な問題であると思います。県内においても「年齢が下がるにつれて初交経験が早い」という実態が、ふく女性財団アンケート調査結果で明らかにされています。

また、漫画や雑誌、テレビ等の過度なる性描写や性情報氾濫など、マスメディアから間違った知識を得ているのも現実です。「もしかしたら子どもが知っていて、わたしたち大人の知らない世界があるのではないか」そのためにはまず、私たち大人が正しい「性」について学ばなければなりません。

こうしたことから今回お呼びした前川先生は、学校という子どもたちの最前線で活躍なさっており、子どもたちに関する情報も大変豊



熱弁をふるう前川ちよの氏

富でした。聞き手をたえず笑いの渦に引き込みながら、「性」についての科学的な知識を実に楽しくわかりやすくお話しして下さいました。

特に、「性」という字は「心」とともに生きる」と書きます。人間は「性」を生殖性・快楽性だけのものに捉えがちですが、そこから生まれる連帯性つまり心と心のコミュニケーションがもっとも大事なのです」という言葉が印象的でした。

また私たち女性自身にもジェンダーが根強く残っており、そこから自分を開放し、その人らしく生きることが大切であること、さらに将来の夫婦のあり方として互いが自立することが大切であることなど、多岐にわたって幅広くお話し下さり充実した2時間を過ごすことができました。

地域色豊かにリーダー研修会開催!

例年、各地域で開催しているネットワークリーダー研修会。今年は、6会場で地域の特徴を生かした企画を取り入れながら、会員一同、女性リーダーとしてのあり方を学びました。

勝山・三国・武生・織田会場では、「ジャーナリストの視点から見る女性リーダーの役割」と題して、橋詰武宏氏(福井新聞社論説委員長)が基調講演を行いました。講演後は、地域での役割など、具体的な意見の交換が活発に行われました。

上志比会場では、山田寿子氏の講演と、DVをテーマとしたワークショップ。また、嶺南会場では県知事西川一誠氏を囲んだ意見交換が開かれ、会場は熱い空気に包まれました。



DVを考える ～上志比会場～

講師山田寿子氏の「DV あなたはどう考えますか」の講演の後、参加者が皆真剣に話し合った。DVを知らない事は大変危険で人権無視にあたり社会問題である。DVを受け、がまんして影で泣く女性のためにも、他人事ではなく、自分自身のこととして考えていく必要があると感じた。

11月9日、上志比村文化会館において、福井・高志ブロック5市町村のリーダーの参加を得て開催された。トライアングルの会の協力のもと、ネットワーク手作り企画であった。

上志比村女性ネットワーク

会長 前川美恵子

一歩踏み出そう ～勝山会場～

11月30日、勝山で開催された。福井新聞社論説委員長の橋詰武宏氏による講義を拝聴し、これからの女性の生き方について教わった。氏は、積極的に仕事を引き受けることによって資質が備わってくるということを、自分自身の経験に基づいて説かれた。そして、女性の連帯を築くためには時代の流れを的確につかみ、豊かな感性を育み組織に代表を送り出し、仲間を増やすことが肝要である。そのため機会を捉えて一歩踏み出し、意見を出してほしいとのことであった。

勝山市男女共同ネットワーク

会長 島田千代



平成16年9月26日、ユニーアイふくにおいて開催された、6団体がそれぞれの手法で男女共同参画普及活動を発表しました。

『出る杭』になって 嶺南会場

三方女性ネットワーク

会長 香川 芳子

11月19日、敦賀市総合福祉センターあいあいプラザにおいて「語ろう! 福井 ひととまち」と題して開催。西川知事を招き、7地区37名が意見交換をした。

その中で西川知事からは、①学童の「生活習慣病予備軍対策」として、地産地消の福井型食育推進、②女性の社会参画30%。これは女性だけのがらばりでは無理だが、男女が同じになったとき初めて女性の地位が見えてくる。④教員の教育技術向上、などの意見をいただいた。

また、県民にはハッキリと意見を言うて欲しい。そのためには、明瞭に話す人材を作る運動は必要かもしれない。出る杭は打たれる。かも知れませんが、女性はある杭になって下さい。との言葉をいただき、時間超過で熱心に研修することができた。

新年のつどい

平成17年1月14日

晴天に恵まれ、百余名の会員がユアーズホテルに集合しました。当日は西川知事をはじめ多くの来賓のご出席を得、華やかな祝舞で会が始まりました。

宴たけなわの頃には来賓の方々のカラオケあり、手品まで飛び出し、最後には県漁協連の寸劇もあって、改めて「お魚の価値」を見直しました。

3時間足らずではありましたが、女性財団の和やかな雰囲気の中にも団結の頼もしさを感じたひと時でした。



男女共同参画 普及コンテスト

平成16年9月26日、ユニーアイふくにおいて開催され、6団体がそれぞれの手法で男女共同参画普及活動を発表しました。

有識者および各ネットワークの代表により審査が行われ、会場からは盛んに笑顔や拍手が送られました。審査結果は次の通りです。

最優秀賞 あわら△座(あわら市)
優秀賞 「さんさん三国」
フェスターズ(三国町)

奨励賞 アミーゴクラブ(春江町)
春江男女共同参画
推進会議(春江町)
私のポケット(勝山市)

いま活躍しています

織田女性ネットワーク

会長 山本美恵子

平成8年5月14日設立。女性の地域における自立、社会参画推進事業も軌道にのり、ここ3ヶ年のささやかな歩みを、カラー入り新聞で発行しました。これを全戸に配り町民の皆様方に、少しでも男女共同参画社会について理解していただくように努めました。

そして、私たち織田町の実情にあった参画プランを策定するためには、まず、町民の皆様方の意識調査をすることが大切だと、原案づくり・集計に真剣に取り組み参画プランがで

き上がりました。

町民のつどいは、男性90名の参加を得て、年次を追うごとに意識は高まっています。男性とよい関係をつ

くり、男
女が真に
協力し合
う町づく
りに努め
ていきた
いと思っ
ています。



中越地震義援金191万518円集まる

12月22日、壬生佐久子理事長が新潟女性財団を訪れ、新潟県中越地震被災者に対する義援金を、大島照美子理事長にお渡ししました。

ご協力をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。



ガールスカウト ソロプチミスト福井
新日本婦人の会 漁協女性部連合会
食生活改善協議会 生活学校連絡協議会
ふるさと活性化協議 地域活動連絡協議会
婦人福祉協議会 ふくいソフィアの会
ふくいの生活と婦人 母子寡婦福祉連合会
福井女性エネの会 福井ファミリ
勝山ファミリ 武生ファミリ
鯖江ファミリ 坂井ファミリ
福井ネット 敦賀ネット 武生ネット
小浜ネット 大野ネット 勝山ネット
鯖江ネット あわらネット 美山ネット
松岡ネット えいへいじ 上志比ネット
みくにネット 丸岡ネット 春江ネット
坂井ネット 今立婦団連 南条ネット
今庄ネット 朝日ネット 宮崎ネット
越前ネット 織田ネット しみずネット
三方ネット みはまネット 上中ネット
名田庄ネット 女性塾生一同 その他

情報コーナー

*ふくいきらめきフェスティバル2005
とき 6月11日(土)・12日(日)
ところ 福井県生活学習館

*日本女性会議2005ふくい
とき 10月7日(金)・8日(土)
ところ 福井フェニックスプラザ

***(財)ふくい女性財団10周年記念事業**
とき 平成18年2月18日
ところ 福井県生活学習館

福井県生活学習館

男女共同参画推進課から

*ユー・アイふくい10周年記念事業
(平成17年7月1日(金)～3日(日))

※記念講演

講師 落合恵子氏(作家)

日時 1日(金)午後2時～3時30分

※鼎談

「10年の歩み」を未来へつなげて

日時 2日(土)午後1時30分～3時

※講演&パネルディスカッション

「女性の生き方を考える」

—NPO活動を二例として—

講師 岡本英雄氏(上智大学教授)

日時 3日(日)午後1時～5時

ゆー・あいカレッジに「自主企画コース」が加わります。平成17年度各講座の詳細については、男女共同参画推進課へお尋ねください。

福井労働局長奨励賞受賞

女性管理職育成・登用推進企業

“夢は大きく着実に”証券投資は
益茂証券株式会社

福井市中央3丁目5-1 (TEL0776-23-2830)

編集後記

「かがやく女性」第18号を発行させていただきました。

皆様のあたたかいご協力のもと、数多くの事業をこなし、活気溢れる内容で紙面を潤すことができました。今後共皆様のご意見、ご要望をお待ちいたしております。

発行者 (財)ふくい女性財団

〒918-1813 福井市下六条町14-1

福井県生活学習館(ユー・アイふくい)2F

TEL(0776)4114254

FAX(0776)4114260